

令和6年度（2024年度） 熊本県立美術館事業報告

ア	展覧会活動について・・・・・・・・・・	P 2
イ	入場者の推移について・・・・・・・・・・	P 14
ウ	教育普及活動について・・・・・・・・・・	P 15
エ	美術品収集について・・・・・・・・・・	P 19
オ	永青文庫振興基金事業について・・・・・・・・	P 23
カ	改修工事について・・・・・・・・・・	P 25

ア 展覧会活動について

I 常設展

1 第Ⅰ期コレクション展

[細川・美術館コレクション]

第1室 細川家の歴史と美

第2室 近代日本画と熊本の美術

第3室 エコール・ド・パリと近代洋画の名品

会 期 令和6年4月9日（火）～6月23日（日）
会 場 本館第2展示室
主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
特別協力 公益財団法人永青文庫
協 力 肥後銀行
観覧者数 3,086人
担 当 者 金子 岳史

趣旨とその成果

公益財団法人永青文庫が所蔵する細川コレクションと、古今東西の様々な分野の美術品等を収蔵する熊本県立美術館のコレクションを総合的に紹介する展覧会。今回の展示では、かつて熊本を治めていた大名細川家伝来の甲冑や大名道具、さらに美術品コレクターとして知られる第16代当主・細川護立が収集した近代日本画などの細川コレクションを展示した。また、県立美術館が収蔵する仏像や刀剣、伊藤若冲などの江戸時代絵画、ルノワールなどのフランス近代絵画なども展示。様々な分野の名品を一堂に紹介した。

関連行事

ミュージアムセミナー

講 師：才藤 あずさ（当館学芸員）
日 時：5月25日（土）
聴講者：20人



2 第Ⅱ期コレクション展

[細川・美術館コレクション]

過去・現在・未来～つなぐ、熊本のたから～

会 期 令和6年7月11日(木)～9月23日(月・祝)

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人永青文庫

協 力 肥後銀行

観覧者数 4, 277人

担 当 者 才藤 あずさ

趣旨とその成果

細川・美術館コレクションの第2期となる本展では、細川コレクションとして、江戸時代に肥後・熊本藩を治めた大名・細川家に伝来する文化財と、美術の殿さま・細川護立が近代以降に集めたコレクションの中から、選りすぐりの名品を展示するとともに、文化財を守るために当館が行ってきた「修復」や「調査」といった事業の成果を紹介した。国指定重要文化財の《白糸威褰取鎧》をはじめとした細川家伝来の大名道具や、護立が愛した日本画や肥後鐔の名品を紹介し、充実した展示内容となった。

また、美術館コレクションとしては、令和5年度(2023年度)に当館が収集した作品を軸に、熊本の刀剣や近代洋画などのコレクションを紹介した。

関連行事

ミュージアムセミナー

講 師：林田 龍太(当館学芸普及課長)

日 時：9月7日(土)

聴講者：15人



3 その他常設展示

① 浜田知明作品

会 期 2階コレクション展と併せて展示替え
会 場 本館2階浜田知明室
主 催 熊本県立美術館
担 当 者 林田 龍太、山中 理彩子



趣旨とその成果

熊本を代表する版画家・彫刻家である浜田知明の版画・彫刻作品など10点程度を入れ替えながら展示した。

第1期（4月9日～6月23日）では「屹立と闇」と題するテーマを設けた。初期の代表的シリーズ〈初年兵哀歌〉に主にみられる、垂直の構造物と闇をたたえた空間というモチーフに着目しながら、浜田の初期作品における造形的な骨組みについて、8点の版画・デッサンから読み解いた。

第2期（7月11日～9月23日）では「1954—浜田知明のターニングポイント」と題した。1955年、浜田は戦後から取り組んできた戦争・従軍体験に関する作品制作を中断する。その前年にあたる1954年は、生々しさが薄れつつある戦争の記憶を作品に刻み込もうとした年と考えられることから、同年に制作された7点の版画作品を紹介した。

第3期以降は、改修工事に伴う細川・美術館コレクションの閉室に併せて、浜田知明室も閉室した。

② 装飾古墳室常設展示

装飾古墳は全国で約700基確認されているが（平成30年現在）、九州の北・中部に集中的にみられ、県内には約200基が存在する。当館の装飾古墳室では、熊本県の代表的な装飾古墳を実物とレプリカで再現し、考古学ファンや児童生徒、一般来館者に楽しんでいただいている。

平成28年（2016年）4月の「熊本地震」によって古墳室内の展示ケース等が破損したため一部区画を閉鎖していたが、平成29年度（2017年度）「本館機能強化工事」により全国の装飾古墳情報（文字情報と画像）を検索できる端末（2台）を設置する情報スペースとした。端末はタッチパネルにより操作するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から使用を停止していたが、令和5年度より使用を再開している。



なお、令和3年度（2021年度）の改修工事で、展示室内の照明を一新。これまで見る事ができなかった、装飾古墳の壁面や石像の文様など微妙な凹凸が感じられるようになった。

Ⅱ 共催展

1 テレビ熊本開局 55 周年記念 超写実 ホキ美術館名品展

会 期 令和6年7月12日（金）～9月1日（日）
会 場 本館第1展示室
主 催 熊本県立美術館、TKU テレビ熊本
協 力 ホキ美術館、TNC プロジェクト
特別協賛 肥後銀行、KM バイオロジクス株式会社
協 賛 磯崎工務店
後 援 熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、
熊本日日新聞社、FM791
観覧者数 18,767人
担 当 者 香月 比呂、萬納 恵介
／松崎 恵、松本 優喜、坂本 幸陽



趣旨とその成果

平成23年（2011年）に千葉市緑区に開館したホキ美術館は、世界でもまれな写実絵画専門美術館として知られている。ホギメディカル創業者である前館長保木将夫氏と、現館長保木博子氏によって収集された約500点の写実絵画からなるコレクションは、同館開館以来、全国各地の美術館で展示公開され、国内外における写実絵画ブームを牽引してきた。本展は、このホキ美術館の写実絵画コレクションから厳選された64点の作品によって、日本の写実絵画の「今」を紹介する展覧会として企画されたものである。なお、同館のコレクション展は今回が熊本初開催であるとともに、当館では実績の少ない同時代作家の作品を展示する貴重な機会となった。

会期中には、一般にはまだ認知度の低い「写実絵画」に親しんでもらうため、鑑賞のポイントを分かりやすく解説した「写実絵画鑑賞ガイド」を作成し、会場内で無料配布するとともに、来場者同士が互いの感想を共有し合いながら鑑賞を深められる場として、展示室内にガイドとリンクした対話型鑑賞コーナーを設置した。その他、会期中には展覧会に連動したワークショップ「子ども美術館」や、出品作家のひとり、石黒賢一郎氏によるギャラリートーク、学芸員による手話通訳付きギャラリートークを実施した。

本展会期中は、台風による2日間の臨時休館（8月29日、30日）を余儀なくされたものの、見込み動員者数12,357人を6,410人上回る18,767人を動員し、成功裏に会期を全うした。

関連行事

- ① 子ども美術館 ビジュツ実験室「あなたの色使いが豊かに!? 色の不思議を体験しよう!」
講 師：福田 友子（当館参事）、香月 比呂（当館学芸員）、藤本 真緒（当館学芸員）
日 時：7月28日（日）13:30～16:15
参加者：8家族 27人
- ② 出品作家・石黒賢一郎氏によるギャラリートーク
講 師：石黒 賢一郎（出品作家）

日 時：8月8日（木）11：00

③ 手話通訳付きギャラリートーク

講 師：香月 比呂（当館学芸員）

日 時：8月22日（木）①11：00～ ②14：00～

2 KAB 熊本朝日放送開局 35 周年記念 美術館に行こう！

—ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

会 期 令和6年9月27日(金)～11月24日(日)

会 場 本館第1展示室

主 催 熊本県立美術館、KAB 熊本朝日放送、
熊本日日新聞社

特別協賛 肥後銀行、明治アニマルヘルス

特別協力 ディック・ブルーナ・ジャパン／Mercis bv

協 賛 ミサワホーム九州

協 力 福音館書店、クツワ、熊本県立図書館、
こども本の森 熊本

企画協力 キュレーターズ

後 援 熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、

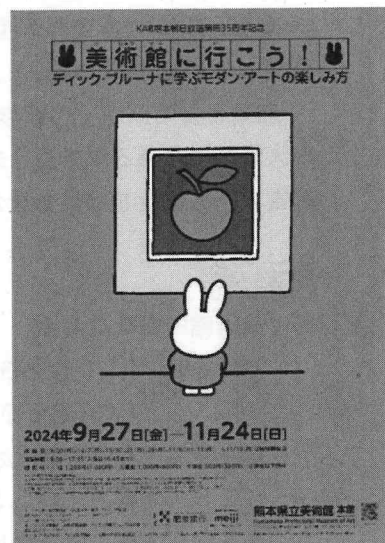
(一社)熊本県私立幼稚園連合会、

(一社)熊本県保育協会、

一般社団法人 熊本市保育園連盟、熊本県保育協議会

観覧者数 18,898人

担 当 者 山中 理彩子、藤本 真緒、才藤 あずさ／三宅 知佳、楠田 倫之、
坂本 幸陽、松崎 恵



趣旨とその成果

ディック・ブルーナは、オランダを代表する絵本作家でありグラフィック・デザイナーのひとり。本展覧会ではブルーナの作品と、絵本『うさこちゃん びじゅつかんへいく』に沿って熊本県立美術館所蔵のモダン・アート等182点を展示した。

展示では、初めて美術館に来る子どもや美術鑑賞を難しく捉えがちな大人も楽しめるよう、当館の館蔵品から色や形といった造形の特徴がわかりやすい作品などをセレクト。作品解説もひらがなによる平易な文章とするなど、小さな子どもでも理解できるよう心がけた。また、展覧会の最終章である常設のワークショップコーナーでは、ブルーナの制作手法を参考にした工作体験ができるようにした。教育普及事業では、子どもから大人まで幅広い年齢に向けた多種多様なイベントを考案し、実施にあたっては展覧会に御賛同いただいた熊本県立図書館及びこども本の森 熊本と連携したものもあった。また、美術館建築を鑑賞いただくための鑑賞補助リーフレット「美術館のこだわりを探そう！」を配布した。

その他、数多くの商品を取り揃えた展覧会特設ショップ、会期中限定のメニュー2種を提供した喫茶、館内各所に設置したグラフィックシートやカットアウト等の装飾（企画会社提供分を含む）により、来館者の美術館体験の満足度が向上するよう努めるとともに、SNSによる周知をねらった。

広報においては、共催の放送局による展覧会紹介（テレビ番組でのイベント紹介、ニュー

ス番組での司会者席ボード設置、天気予報の背景で会場風景放映)、共催の新聞社による特設ホームページ開設やポップアップ広告展開、市電停留所サイネージなど、前例の少ない告知方法も積極的に活用した。また、展覧会チラシは、通常版と、A5判でぬりえ付きの子どもを対象にしたものの2種を製作。(一社)熊本県私立幼稚園連合会、(一社)熊本県保育協会、一般社団法人 熊本市保育園連盟、熊本県保育協議会の御後援により、熊本市内の幼稚園・保育園・こども園に配布した。

結果として、多くの家族連れや女性を中心とするミッフィー・ファンが来館した。特に、総入場者に占める小学生・未就学児の割合は22.8%に至り、本展覧会によって若年層に美術鑑賞入門の機会を提供できたといえる。

関連行事

① 美術館でおはなし会

おはなし:[10月2日] 東部・秋津おはなしの会(読み聞かせボランティア)

[10月30日] 小田 桂子、田中 史織(熊本県立図書館参事)

日 時:10月2日(水)、10月30日(水)

各日10:30~11:00、11:30~12:00

会 場:本館 吹き抜けホール内ワークショップコーナー

参加者:[10月2日] (1回目)11人 (2回目)18人 計29人

[10月30日] (1回目)12人 (2回目)11人 計23人

総計52人

② 学芸員によるギャラリートーク

日 時:10月5日(土)、10月19日(土)

14:00~ 各日30分程度

③ こども本の森 熊本 コラボ企画 おとなのための読み聞かせ会

ゲスト:宮崎 美子(こども本の森 熊本名誉館長)

講 師:山中 理彩子(当館主任学芸員)

日 時:10月14日(月・祝)14:00~15:00

会 場:本館文化交流室

参加者:65人

④ かぞくでアート☆(絵本の読み聞かせと対話型鑑賞)

おはなし:[10月20日] 小田 桂子、田中 史織(熊本県立図書館参事)

[11月17日] 早田 章子(当館館長)、林田 龍太(当館学芸普及課長)、

福田 友子(当館参事)、藤本 真緒(当館学芸員)

日 時:10月20日(日)、11月17日(日)11:00~12:00

会 場:本館 第1展示室

参加者:10月20日 30人、11月17日 36人

総計66人

⑤ 子ども美術館(シルクスクリーン体験)

講 師:HUNKA(創作ユニット)、福田 友子(当館参事)、

山中 理彩子（当館主任学芸員）、藤本 真緒（当館学芸員）

日 時：11月3日（日）14：00～15：30

会 場：本館文化交流室

参加者：35人

⑥ 出張！かぞくでアート☆（アートカードゲーム）

講 師：福田 友子（当館参事）、藤本 真緒（当館学芸員）

日 時：11月22日（木）13：40～、14：30～

場 所：こども本の森 熊本

参加者：（1回目）20人（2回目）13人

総計33人

⑦ 手話通訳付きギャラリートーク

日 時：11月18日（月）

11：00～、14：00～ 各回30分程度

Ⅳ アウトリーチ事業（巡回展・スクールミュージアム）

1 スクールミュージアム

会 期 令和6年10月～12月（8校6か所）

主 催 熊本県立美術館

観覧者数 820人

担 当 者 福田 友子、藤本 真緒、当館学芸員

趣旨とその成果

当館では、平成18年から県内の学校を対象とした教育普及活動として、美術館の収蔵品を学校に持参して展示・授業をおこなう「スクールミュージアム」を開催してきた。この事業は、活動を通して子どもたちの芸術や文化を愛好する心を育むとともに、地域にひろく美術鑑賞の機会を設けることを目的とする。令和6年度は、下記の県内8校（6か所）の学校で実施した。展示作品は、浜田知明、マルク・シャガールの版画作品と原版。



実施日	実施校	児童・生徒 参加者数	教職員 参加者数	保護者等 参加者数	合計
10月11日（金）	天草市立新和小学校・中学校	126人	32人	32人	190人
10月29日（火）	天草市立楠浦小学校	94人	14人	0人	108人
11月 6日（水）	熊本市立中緑小学校	47人	15人	4人	66人
11月15日（金）	宇城市立青海小学校	84人	18人	15人	117人
11月20日（水）	水俣市立水俣第二小学校	113人	15人	77人	205人
12月 6日（金）	宇土市立網田小学校・中学校	103人	21人	10人	134人
10月11日（金）	天草市立新和小学校・中学校	126人	32人	32人	190人
10月29日（火）	天草市立楠浦小学校	94人	14人	0人	108人
総計	8校	567人	115人	138人	820人

2 ミュージアムバス

会 期 特別展開催期間

主 催 熊本県立美術館

観覧者数 113人

担 当 者 福田 友子、藤本 真緒、当館学芸員

趣旨とその成果

県立美術館から遠隔地にあり、県立美術館へ来る機会が少ない県内の小中学校を、美術館へ招待するシャトルバス事業。令和5年度は、主に阿蘇地域を招待。令和6年度は芦北・水俣地域を招待した。

実施日	実施校	児童・生徒 参加者数	教職員 参加者 集	合計
7月18日（木）	芦北町立佐敷中学校	47人	3人	50人
10月25日（金）	津奈木町立津奈木小学校	30人	3人	33人
10月31日（木）	芦北町立田浦中学校	24人	6人	30人
総計	3校	101人	12人	113人

V その他の活動

1 月曜特別開館日・手話通訳付きギャラリートーク

通常休館日である月曜日を臨時開館し、障がいのある方々にゆつくりと、また、通常月曜日を週休日とする職種の方々などに展覧会をご観覧いただく「特別開館日～手話通訳ギャラリートーク付き～」としたものと、通常開館日のギャラリートークに併せ手話通訳も行う「手話通訳付きギャラリートーク」を開催。

期 日		手話通訳付き解説を行った展覧会
8月22日（木）	手話通訳付きギャラリートーク	超写実 ホキ美術館名品展
11月18日（月）	手話通訳付きギャラリートーク	美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダンアートの楽しみ方
11月18日（月）	月曜特別開館日	美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダンアートの楽しみ方

2 展覧会広報事業

（１）印刷物及びインターネットによる広報

- ・展覧会スケジュール、展覧会のポスター・チラシ、美術館情報誌「View（年4回発行）」などの印刷物による広報及び各種情報誌・ウェブサイトへの展覧会情報掲載
- ・ホームページ、X（旧 Twitter）、Instagram、YouTube 等インターネットによる広報
- ・その他情報誌紙（WEB 含む）無料掲載多数
- ・県広報グループ等を通しての広報（報道資料の投込み、県政広報番組（テレビ・ラジオ）「県からのお知らせ」コーナー、各地区県人会会報、官公庁機関誌への情報提供、県庁地下通路での展示、等）

（２）各種メディア等による広報（共催展等を除く）

- ・RKK熊本放送ラジオ・テレビ広告（2展覧会）
- ・くまにちすぱいす（熊本日日新聞社発行フリーペーパー）広告（1展覧会）

(3) 周辺施設等との連携による広報

- ・熊本城無料シャトルバス、熊本城周遊バス（しろめぐりん）、城彩苑 広告掲出
- ・近隣施設（主要宿泊施設・文化施設・観光施設・神社・病院等）の協力によるポスター掲示、チラシ掲出

(4) インバウンドに向けた広報事業展開

- ・多言語に対応したホームページの運用（7言語）
- ・年間スケジュールの多言語版（英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語）の作成

3 インターネット美術館の推進

(1) 「おうちで美術館」等の展開

自宅でも美術館を楽しんでもらうための事業「おうちで美術館」として、以下のコンテンツを当館ホームページ、X（旧 Twitter）、Instagram、YouTube で配信した。フォロワー数は X（旧 Twitter）6, 546人、YouTube 動画公開数22本（令和6年度時点）。Instagram 1, 724人（令和6年度時点）。

- ・熊本県立美術館が所蔵する作品をぬりえにした「美術館ぬりえ」
- ・YouTube の「熊本県立美術館公式チャンネル」で、高精細画像を使用した動画「4K でイッピン！」の第2弾として横山大観《雲去来》を公開。このほか、展覧会準備の様子を紹介した短編動画やワークショップ「こども美術館」における説明のために制作した動画などを公開。

(2) 収蔵品データベースの整備

- ・当館ホームページが県庁ホームページに統合されるのに伴い、これまで HP 内で公開していた収蔵品データベースを令和2年度（2020年度）に新システムに移行。
- ・新データベースでは、コレクションの一般公開に加え、美術品管理台帳の出力や画像の管理、貸出状況の確認など、美術館内部における管理システムの拡充にも活用。
- ・令和7年3月現在4, 969点を公開。

(3) ポケット学芸員の導入

- ・データベース移行に付随して、あらかじめ登録した美術品の画像や解説をスマートフォンで閲覧できる「ポケット学芸員」を導入。令和2年11月より一部作品の公開をおこなっている。
- ・今後、美術品の展示状況や、データベースの更新状況に合わせ公開数を拡大する（令和6年5月現在172点を公開）。

4 地域や他施設等との共働事業

「教育・文化週間」、「くまもと教育の日」の趣旨に添い、高校生以下の子どもへ色えんぴつを

プレゼントする「色えんぴつプレゼントの日」を実施。

- ・実施日：11月9日（土）
- ・配布者数：170人

イ 入場者数等の推移について

年 度	主催・共催展			貸 会 場			計		
	回数	日数	入場者数	回数	日数	入場者数	回数	日数	入場者数
平成27年度※1	21	586	82,968	123	801	214,023	144	1,387	296,991
平成28年度※2	26	316	45,880	95	586	97,932	121	902	143,812
平成29年度※3	22	430	101,147	104	667	173,631	126	1,097	274,778
平成30年度※4	25	642	115,013	148	1,255	209,691	173	1,897	324,704
令和元年度※5	90	631	66,464	144	1,125	169,125	234	1,756	235,589
令和2年度※6	46	513	33,008	39	246	35,577	85	759	68,585
令和3年度※7	30	343	43,513	81	687	90,694	111	1,030	134,207
令和4年度	37	717	266,268	116	704	139,097	153	1,421	405,365
令和5年度	16	589	48,459	100	653	107,168	116	1,242	155,627
令和6年度	10	229	47,959	135	825	138,324	145	1,054	186,283

※貸会場は分館入場者数を含む

※令和元年度～令和4年度の「主催・共催等」の回数・日数・入場者には、特別講演会・子ども美術館等の参加者数を含む

◎令和元年度 本館入館者数 73,051（玄関カウンター）

◎令和2年度 本館入館者数 62,396（玄関カウンター）

◎令和3年度 本館入館者数 30,517（玄関カウンター）

※令和4年度以降は玄関カウンター不具合のため、本館入館者数は不明

※1 平成27年度 第一次改修工事による臨時休館（12/28～3/31）

※2 平成28年度 第二次改修工事による臨時休館（10/11～2/10 ※2/11～3/26 は別棟のみ開館）

※3 平成29年度 第三次改修工事による臨時休館（11/13～3/31）

※4 平成30年度 第三次改修工事による臨時休館（4/1～4/26）

※5 令和元年度 第四次改修工事及び新型コロナウイルス感染症感染拡大による臨時休館（12/16～3/31 ※1/8～2/27 は別棟のみ開館）

※6 令和2年度 新型コロナウイルス感染症感染拡大による臨時休館（4/1～5/6）
分館改修工事による臨時休館（5/11～11/30）。この期間の分館開催予定団体展等は、本館にて開催予定だったが、コロナ感染症拡大のためほとんどが中止となった。

※7 令和3年度 新型コロナウイルス感染症感染拡大による臨時休館（4/24～6/28）
本館改修工事による臨時休館（9/13～12月末）

ウ 教育普及活動について

① 学校団体利用

令和 6 年度の受け入れ校数は 116 校（県内 33 校、県外 83 校）、受け入れ人数は 2552 名（県内 1028 名、県外 1524 名）。

② 子ども美術館（実施場所：文化交流室及び展覧会場他）

期 日	関連展覧会	参加者数 事前募集、定員制
7 月 28 日（日）	超写実 ホキ美術館名品展	27 人
11 月 3 日（日）	美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方	35 人

③ おしゃべり鑑賞タイム

（実施場所：展覧会場、時間：①10：30～12：00 ②13：30～15：00）

期 日	テーマ
第 2・4 日曜日、 各ワークショップ開 催日	「おしゃべりしながら鑑賞できる」時間帯とするもの。 家族や友達と会話しながら鑑賞を楽しめる。

④ 特別講演会（実施場所：文化交流室、時間 13:30～15:00）

期 日	関連展覧会	講 師	参加者数
10 月 14 日 （月・祝）	美 術 館 に 行 こ う ！ ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方 こども本の森 熊本 コラボ企画 「おとなのための読み聞かせ会」	こども本の森 熊本 名誉館長 宮崎 美子 氏	65 人
2 月 11 日 （火・祝）	「チョコレートで三角縁神獣鏡を作 ろう」	福井市立郷土歴史博物館 学芸員 藤川 明宏 氏	38 人
2 月 12 日 （水）	文化財を活用した教育普及研修会 「文化財への興味を掘り起こす！ スイーツ系実験考古学の実践」	福井市立郷土歴史博物館 学芸員 藤川 明宏 氏	37 人

⑤ ミュージアムセミナー（実施場所：文化交流室、時間 13：30～14：30）

期 日	関連展覧会	講 師	参加者数
5 月 25 日（土）	細川・美術館コレクションⅠ	才藤 あずさ	20 人
9 月 7 日（土）	細川・美術館コレクションⅡ	林田 龍太	15 人

⑥ おわったアートのポスターさしあげます(実施場所:文化交流室、時間 10:00～16:00)

期 日	内 容
8 月 31 日 (土)	令和 5 年 (2023 年) に全国で開催された展覧会ポスターを無料配布。 ポスターで、ペーパーバックをつくるワークショップも実施。

⑦ かぞくでアート☆(実施場所:文化交流室及び展覧会場他、時間:10:30～12:00)

期日	内容	参加者数 事前募集、定員制
5 月 3 日 (金・祝)	様々なプログラムを通じて、作品や美術館に親しみをも っていただく機会とする「鑑賞ワークショップ」。ア ートカードを使った鑑賞ゲーム、バックヤードツアー、展 示室内での絵本の読み聞かせ等を実施した。	25 人
8 月 24 日 (土)		20 人
10 月 20 日 (日)		30 人
11 月 10 日 (日) ※出張版		33 人
11 月 17 日 (日)		36 人

⑧ 特別展関連イベント及びその他ワークショップ (実施場所:第1展示室 他)

期 日	関連展覧会		参加者数
10 月 2 (水)	美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方	平日読み聞かせイベント	29 人
10 月 5 日 (土)	美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方	バックヤードツアー	11 人
10 月 19 日 (土)	美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方	バックヤードツアー	22 人
10 月 30 日 (水)	美術館に行こう！ ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方	平日読み聞かせイベント	23 人

⑨ 鑑賞ツール「熊本県立美術館アートカード」の作成と活用(令和 4 年 10 月 2 日発行)

(1)「熊本県立美術館アートカード」を活用したイベント・研修・出前講座

- ・美術鑑賞ワークショップ「かぞくでアート☆」
- ・先生のための鑑賞プログラム
- ・教員向け研修「教員のための博物館の日」(主催:博物館ネットワークセンター)
- ・熊本県初任者研修(主催:熊本県立教育センター)
- ・熊本市教員研修(主催:熊本市立教育センター) 他

(2)学校での活用

- ・「熊本県立美術館アートカード・セット」の貸し出し(鑑賞の授業や来館前の事前学習での活用)

- ・関連ワークシートの提供と当館 HP へ掲載
- ・学校団体利用向け鑑賞プログラム

⑩ 教育普及関連配付物の作成

- ・「超写実 ホキ美術館名品展」鑑賞ガイド
- ・「美術館に行こう！ーディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」美術館建築ガイド 美術館のこだわりを探そう！
- ・学校向け教育普及リーフレット(鑑賞プログラムや鑑賞ツールの紹介)

⑪ その他イベントや取り組み等

- ・学校＆医療福祉のための鑑賞プログラム(6月16日／参加者数24人)
- ・チラシでSDGs「エコ缶バッチをつくろう!」(5月4日／参加者数22人)

⑫ 令和6年度講座（職員が講師として参加）

期日	内容	担当者	場所
6月24日(月)	熊本県医師会婦人の会研修会	萬納 恵介	熊本県医師会館
7月2日(火)	令和6年度熊本さわやか大学校(八代校)	林田 龍太	桜十字ホールやつしろ
8月2日(金)	熊本県図工美術教育研究会 夏季造形実技研修	藤本 真緒	熊本市立桜木中学校
8月3日(土)	「橋本左内と横井小楠」 学芸員トークセッション	宮川 聖子	福井市立郷土歴史博物館
8月8日(水)	教員のための博物館の日 in 水俣	福田 友子 藤本 真緒	水俣環境センター
8月17日(土)	アートカード鑑賞ゲーム体験会	福田 友子 藤本 真緒	コーヒーバーダブルA
8月27日(火)	熊本市中堅教諭等資質向上研修	福田 友子 藤本 真緒	藤園中学校
9月14日(土)	北九州市立美術館開館50周年記念 大コレクション展関連イベント 「山の上の美術館サミット」	林田 龍太	北九州市立美術館
9月26日(木)	令和6年度熊本さわやか大学校(熊本校)	金子 岳史	熊本県総合福祉センター
10月22日(火)	玉名郡市教科等研修会(助言者)	福田 友子	長洲町立六栄小学校
11月12日(火)	熊本県中堅教諭等資質向上研修	福田 友子 藤本 真緒	熊本県教育センター
11月21日(木)	熊本市中堅教諭等資質向上研修	福田 友子 藤本 真緒	力合小学校

10月23日(水)	地域コミュニティ ゲンキープ大江 SDGs 封筒づくり体験	福田 友子 藤本 真緒	大江コミュニティセン ター
11月10日(日)	出張! かぞくでアート	福田 友子 藤本 真緒	こども本の森 熊本
2月1日(土)	キッズミュージアム in 玉名	福田 友子 藤本 真緒	玉名市民会館
2月4日(火)	令和6年度さわやかパートナーシッ プ講演会(熊本校)	林田 龍太	くまもと森都心プラザ
2月28日(金)	清藤クリニック待合室カフェ	福田 友子 藤本 真緒	清藤クリニック
3月6日(木)	令和6年度(2024年度)第3回 博物館学芸員スキルアップ研修会	萬納 恵介	熊本県立美術館本館 文化交流室

⑬ 専門性向上のための研修参加状況

期日	内容	担当者	場所
2月10日(月) ~14日(金)	令和6年 独立行政法人国立美術 館キュレーター研修	香月 比呂	国立西洋美術館

⑭ 令和6年度 学芸員資格取得課程実習(博物館実習)

期日	学校・人数	内容	担当
8月27日 (火) ~9月1日 (日)	熊本大学 神戸大学 女子美術大学 崇城大学 (6人)	・美術館の機能、運営等に関する講義 ・作品の調査法と取り扱いの実習 ・展覧会企画に関する講義と実習 ・当館イベントの補助と参加実習 ・展覧会企画のプレゼンテーション	宮川 聖子 他 関係職員

エ 美術品収集について

購入作品

	作品名	作者名	品質形状	寸法 (cm)	制作年
1	雨龍透金渦象嵌鐺	神吉楽寿	鉄地八花形・金象嵌	7.8×7.6	江戸時代後期 (19世紀)
2	泰山木	牛島憲之	油彩・ キャンバス	91.0×65.3	昭和5年 (1930)
3	水門	牛島憲之	油彩・ キャンバス	42.0×126.5	昭和27年 (1952)
4	テーブル	山口輝也	油彩・ キャンバス	130.5× 162.1	昭和37年 (1962)
5	風神雷神	中村賢次	紙本着色	194.0× 194.0	令和元年(2019) ～令和3年 (2021)

寄贈作品

	作品名	作者名	品質形状	寸法 (cm)	制作年
1	木造如意輪観音菩薩 坐像	七条左京隆 範	木造・素地	総高 33.6 像高 16.8	室町時代 文明9年(1477)
2	加藤清正書状	加藤清正	紙本墨書 切紙 掛幅装	17.4×48.1	慶長5(1600)
3	七滝	浜田知明	油彩・板	33.0×23.6	昭和7(1932)
4	中国の門と 弁髪少年	浜田知明	ペン、 水彩・紙	27.1×24.2	昭和29年(1954)
5	朝日新聞カット 冬の江津湖	浜田知明	ペン・紙	20.7×27.6	昭和58年(1983)
6	87年熊日カット	浜田知明	ペン・紙	23.6×24.0	昭和62年(1987)
7	ばら	佐々木耕成	油彩・ キャンバス	61.0×50.4	昭和38年(1963)
8	静物	乙葉統	油彩・ キャンバス	46.0×37.5	昭和23年(1948)
9	リオのカーニバル	乙葉統	油彩・ キャンバス	72.5×90.3	昭和41年(1966)
10	黒いモニュマン	乙葉統	油彩・ キャンバス	72.6×53.0	昭和43年頃 (c.1968)

令和6年度（2024年度）熊本県立美術館収集委員会 委員名簿

※各分野氏名五十音順

	専門分野	氏 名	役職
1	日本・東洋古美術分野 (含む日本歴史)	今村 直樹	熊本大学附属永青文庫研究センター 准教授
2	同上	宮原 江梨	八代市立博物館未来の森ミュージア ム 学芸員
3	同上	中山 喜一朗	福岡市美術館 総館長
4	近現代美術分野	中村 賢次	崇城大学芸術学部 教授・日本画家
5	同上	森山 秀子	久留米市美術館 副館長兼学芸課長
6	同上	楠本 智郎	つなぎ美術館 学芸員
7	西洋美術分野	石井 祐子	九州大学基幹教育院 人文社会科学部門 准教授
8	同上	竹口 浩司	広島市現代美術館 学芸担当課長
就任依頼期間		令和6年（2024年）8月1日から 令和8年（2026年）7月31日（2ヶ年）	

収蔵品貸出状況

令和6年度資料貸出の記録。本リストには寄託品を含めない。

作品名	貸出先	展覧会名称	展覧会会期
横山大観《焚火》	福井県立美術館	横山大観展	令和6年4月26 日～6月2日
横山大観《老子》			
田代順七《海辺小景》	肥後の里山ギャ ラリー	田代順七 こ ころの風景	令和6年6月3日 ～7月13日
田代順七《採釣園》			
田代順七《八代大島》			
田代順七《貝焼場》			
田代順七《夏の天草》			
田代順七《川畔風景》			
田代順七《阿蘇》			
田代順七《城内風景（B）》			
田代順七《河畔》			
横井小楠《横井小楠書簡》	福井市立郷土歴 史博物館	橋本左内と横井 小楠	令和6年7月20 日～9月1日
堅山南風《霜月頃》	福井県立美術館	生誕150年記念 菱田春草展 不朽の名作《落 葉》誕生秘話	令和6年9月15 日～11月4日

オ 永青文庫振興基金事業について

○県立美術館の永青文庫常設展示の充実を図り、文化の振興を図ることを目的に、平成20年3月に永青文庫常設展示振興基金（以下、「基金」）が設立された。この基金を活用して、本県にある永青文庫の所蔵品の調査・修復を実施している。

I 「修復事業」について

（1）修復事業の目的

永青文庫所蔵資料（県美「寄託品」及び「預かり品」等）のうち、優れた美術品であるものの、経年変化等により損傷を被っているため展示困難なものを修復することにより熊本県立美術館での展覧会事業に活用することを目的とする。

（2）これまでの修復実績

	年度	作品名	実績額 (千円)	修復後の主な展示実績 (県美公開分を中心に)
1	平成20年度	細川忠利所用《頭形兜》 すなりかぶと	1,980	「細川家のよろいの美展（H22）」 「開館40周年記念展（H25）」
2	平成21年度	細川幽斎所用 《紅糸威腹巻》	3,906	「細川幽斎展（H22）」 「信長からの手紙展（H27）」
3	平成22年度	①《帝鑑図屏風》 ②《狩獵図》4幅対	22,446	「雪舟流と狩野派展（H28）」 「開館40周年・リターン展（H29）」
4	平成22～23 年度継続	《山路図》 (横山大観筆)	4,624	「大観と春草展（H25）」 「開館40周年・リターン展（H29）」
5	同上	《月影》 (上村松園筆)		「大観と春草展（H25）」 「開館40周年記念展（H25）」
6	同上	《西王母・琴高仙人図屏風》	10,796	「修復完了記念・細川コレ展（H25）」 「雪舟流と狩野派展（H28）」
7	平成23～24 年度継続	《竹林七賢図屏風》	9,835	「修復完了記念・細川コレ展（H26）」 「雪舟流と狩野派展（H28）」
8	平成24年度	細川忠興所用 《黒糸威二枚胴具足》	2,835	「開館40周年記念展（H25）」 「信長からの手紙展（H26）」
9	平成26～27 年度継続	《源氏物語扇面貼交屏風》	10,776	「雪舟流と狩野派展（H28）」
10	同上	《細川三斎像》	1,905	「ザ・家老展（八代市博H30）」
11	同上	《細川忠利像》（沢庵宗彭賛）	2,095	「細川ガラシャ展（H30）」

(平成 28～30 年度は、熊本地震被災対応のため修復なし)				
	年度	作品名	実績額 (千円)	修復後の主な展示実績 (県美公開分を中心に)
12	令和元～2 年度継続	《細川忠利像》(大淵玄弘賛)	2,334	「よみがえった名宝 (R2)」
13	令和 3～4 年 度継続	《一の谷・屋島合戦図屏風》	12,191	「美術館コレクションⅡ (R5)」
14	令和 5 年度	《桐九曜紋唐草蒔絵鞍・鎧》	5,019	「細川・美術館コレクションⅡ (R6)」
	総計額		90,742	

(3) 令和 6 年度の修復実績

令和 6 年度～7 年度の 2 か年計画で横山大観《雲去来》の修復を実施中。修復金額 14,602 千円。

カ 改修工事について

令和6年度は増築屋上・荷解き場防水工事及びエレベータ等増築棟を中心として改修工事を行った。

	工事内容
令和6年度	①増築棟屋上・荷解き場防水工事 ②増築棟エレベータ改修工事 ③増築棟ヒートポンプチラー改修工事

